

# 県大会のアンケート 一般大会

# 今後の大会運営

- 家族会自体に魅力がないから、育成会にも期待しないのか?とも考えられる。もっと各家族会の要望をくみ上げることが大切なのか?運営自体には感謝している。
- ・道案内の方がいてくださって、よかったです。・お弁当をおいしくいただきました。引渡しの際、二列に並ぶのだったら、二箇所に分けて置いた方がスムーズだったのではないのでしょうか。
- DVDが見れなかったのは、残念でした。
- 育成会の会費を増やして、大勢の方が集まれるよう盛大にやってほしい。
- 大きなイベントと重なる日程は遠方から来る人にとって時間がどれくらいかのか読めない。

- 岡山マラソンと同じ日になってしまったのが、残念です。
- 今日がマラソンと重なったため、いろいろな面で余計な手間がかかったのではないかと思う。しかし、各地で開催されるより、やっぱり会場が慣れ親しんだ市内の方が良いなと思った。
- 講演は制度等の移行のことを聞いてよかったのですが、時間が不足といわれた。その割りに休憩時間が長すぎると思いました。
- 司会をさせていただいた。時間配分に気をつけようと思っていたが、提案者と席が離れていたもので、時間を短くしてもらうことが伝えにくかった。プロジェクター利用も、途中、不具合になり、事務局の方の努力で一度写ったが、また不具合となったのが残念だった。準備が大変だとは思いますが、ハードのチェックは、できるだけ前もってしておいたら、スムーズにいくと思います。(それでも当日不具合になったのかもしれないね。申し訳ありません。) 司会不慣れで、ご迷惑をおかけしました。

- 整然として動きやすかったと思います。アトラクション、パンフレット、食事などの移動もなく、無駄な要素もなく、スッキリしている、そんなところですよ。
- 一人一人の意見を生かしていただきたい。
- マラソン大会と重なってどうなるかと思いましたが、すばらしい大会になったと思います。本人大会は雨が心配でしたが、散策は楽しかったでしょうか？大きな大会でなくても良いので、楽しく参加できたら成功だと思いました。
- 若い方が少ない。ほとんどいないようななか、若い親たちが何を求めているのか、また、参加したくなるような育成会運営がいるのだと思います。本人大会が盛り上がるなか、今、何かしなくてはと思います。
- 立派な大会運営でよかったと思います。マラソンと日程が被ってどうなるかと思いましたが、思いのほか、皆さんが参加されいてパワーに圧倒されました。

- 参加してとっても良かったです。市町村は記入しません。誰かわかるので。
- 分科会の4階のトイレに洋式トイレがなく、困られている人がいらっしやいました。支援者、親、本人もどんどん高齢化の中、会場決定の時に考慮がいるのでは？と思います。
- 分科会にするのは、知りたい内容をよく知ることができて良かったです。座席の幅が少し狭く、窮屈に感じました。
- お弁当のお世話をしておられたわざわざした作業の音で、小坂田先生のお話がよく聞こえませんでした。
- 第四分科会のお弁当当番の人数や資料配布の人が人数不足だったように聞いています。入場者だけでなく、お弁当券の方にも分科会名①とか②でも良いので記入が欲しい。また、この券がないと資料がもらえないとか、券に記入して欲しい。要項のP25広瀬 仁の所属は「つばさの会」です。

- 分科会をしている最中にホールの中でお弁当の準備をしている人の声が大きく、せっかくの先生のお話を聞いている方々に迷惑だし、先生に対しても失礼だなと感じた。
- とても有意義な時間を過ごせました。次回も場所も今回の形式でお願いします。
- ・作業所の販売が本人達の会場にのみで実施され、一般会場であって欲しかった。一般会場で本人たちの会場で行われていることの紹介もなかった。・全大会が二つなため、人数が少なく寂しい。
- ・8月の開催をお願いしたいです。・施設の販売を一般大会の方でしていただきたかったです。
- 一般大会で本人大会での販売ブースがなかったこと。別々の場所ですることはどうかと思う。
- 作業所、施設などの作品等の販売がなかったことを残念で寂しかったです。場所はどこの部屋でもよいので、この先は今ことがないようにお願いします。

- 事業所の販売が本人の会場のみで行われていたが、一般会場の方でも言ってほしかった。本人会場で、販売が行われていることの紹介もなかった。
- 分科会と本人部会の会場が別でしたので、作業所での手作り品を買いにいきましたが、(本人さんたちの希望で販売されたようですが)親のいるところでの販売が望ましいのではと思います。あまり販売できてなく、気がかりでした。
- 研修を主眼にした大会は良かった。来年も是非続けて欲しい。
- 職場での障害者の対応。働いているみんなから障害者への意見と感想はなどをとりまとめて聞かせて欲しい。よく私はグループホームで聴くのは、職場でいじめられるというからです。加藤勝信先生の政治力を見させて欲しいです。社会福祉に力を入れる。女の人に目を向ける---仕事場なども教えて欲しい。

- 親の会、会員の高齢化、減少傾向のため、今後の地域での大会運営の負担が大きいと思う。
- 午前中、先生のお話が素晴らしかったのですが、後ろでお弁当の用意をされてる私語がやかましくみなさん、気にしておられました。
- 各市町村を巡る大会運営は、担当になったとき、慣れないので大変でした。それより今回のようなベテラン育成会理事を中心にされた方が、会の運営もスムーズに行くし、前年度の課題をもとに次年度の計画を立てやすく、この方が良いと思われまます。岡山県本部の皆さんは大変と思いますが、今後もこの方向でお願いします。



# 第一分科会 療育・就労

- 大変参考になりました。しかし、社会状況はなかなかお話のようにはないと思います。課題が大きいです。
- 障害のあるお子さんをお持ちの親御さんからの体験を聞かせていただいて、いろいろなご苦労があったことと思います。1つ感心させられたことは、すごく前向きに子育てでされていることを感じさせられました。大変なことが多かったと思われるけれど、このような姿勢は見習わなければと思いました。
- 子供の年齢も上がってきて、就労の問題が問題になってきたので、大変勉強になりました。
- こどもが小学校高学年になり、就労について考え始めるようになりました。ふわっと考えていましたが、提案を聞いて具体的にどうしたら良いのか参考にとてもなりました。

- 藤井さんの子育て体験談がとても参考になりました。将来を見据えての幼少期の取り組みの大切さを感じました。施設職員では入所者は親子の愛情を土台として家庭生活に恵まれずに育てられた方も多くいます。一般的な支援でなく、より将来に対して可能性を広げていける支援に取り組んでいきたいと思いました。
- 幼児、児童期からの意見を通しての実践の必要性をより感じ、どう支援していくべきかを考えるきっかけとなりました。ライフステージを通して、その時期に応じた課題をどう達成に導いていくか、今後考えていきたいと思います。
- 支援する側、される側、両方の立場からの意見が聞けてわかりやすかったです。ありがとうございました。
- 育てる側と支援する側からのお話を聞かせてもらって、様々な課題はあるけれど、いろいろな取り組みや工夫を続けることが、将来につながるんだと、考えるきっかけになりました。
- 実際に子供を育てたお母さんの貴重な意見や体験談を聞くことができたので、自分の子育て設計にとっても役に立ちました。親子だけではどうにもならないことがあるので、情報を自分で集めて、その子にあった福祉サービスを利用できるようにしたいと思います。ありがとうございました。
- 就労に向けて具体的なお話が聞けてよかったです。学校、地域によっても違いがあることもわかりました。

- いろいろな話を聞くことができ、大変勉強になりました。これからのことを改めて考え行動していこうと思います。ありがとうございました。
- 初めて参加した育成会大会、知らないことがいろいろな話を聞いてよかったです。藤井さんのお話を聞いて、頑張ろうと思いました。
- 近い将来を先に進んでいращやる藤井さんのお話はとても元気を保つことができる内容でした。感情が先走る私も冷静に見極めていきたいと思います。ありがとうございました。
- 学校、保護者、ナカポツセンター、それぞれの立場からキャリア教育についての話が聞いて参考になりました。就労して頑張っている若者もいますが、大月さんのお話にも出ていたように年金がもらえないかもしれないとか、働く子どもに頼ろうとする家族とか、人間関係とか、まだまだ社会で暮らすのが苦しい現状にあります。頑張っている若者の貧困の問題など、行政、もっと言えば政府の問題であると思って、私たちは何をすれば良いのかなあとと思います。

- 療育の部分で、今問題になっている発達障害について親も本人もわからないことが多い。ネグレクトや育児放棄もいます。支援の部分があって出かけて行って相談はできるのでしょうか。療育の部分でも発達障害を発見して親のフォローをしていく場が欲しいと思います。現在ある相談する場は待ち時間が長いようで、場所が足りません。
- 就労に向けて具体的に何を身につけていくのか。それは家庭なのか、学校でなのかなど大変勉強になりました。
- 今日は、参考になるお話をたくさん聞かせていただき、ありがとうございます。まさに内容にビッタリの支援学校高等部3年で進路のことで迷っている時期です。藤井さんのようにもっと積極的に我が子のために取り組んできたらよかったなあと反省するばかりです。それと同時にいろいろな勇気もいただきました。あと何ヶ月かの学校生活の間に本人に一番合った方面に向かって行けるよう親子共に頑張っていきたいと考えています。
- 発表された先生や親の方の発言にいろいろ考えさせられることばかりで、親として未熟さを感じました。子供のためになるように行動したいと思いました。

## 第二分科会 権利擁護

- 我が子は最重度の知的障害で自閉症もあるので、人権擁護の観点からの意思決定と言われても難しいと思っていました。でも、日常生活において、もう少し我が子に注意深い見守りで、意思の確認をしていきたいと思いました。また、**重度だから将来は働けないと思っていましたが、施設内の役割分担でも「仕事」になり、本人の「生きがい」になるのかもしれないという事例をお聞きし、心を動かされました。**我が子の入所施設の職員の方と話し合っていきたいと思いました。
- **成年後見制度を必ず利用しなければいけないのでしょうか。**本人が今の生活に満足していて、親や兄弟、姉妹にも仲良く一緒に過ごしているのに利用しなければならないというのも、絶対におかしいと思います。お金のことも家族全員で話し合っています。**親の亡き後は兄弟姉妹が引き継いで行ってくれると言っているので、それで良いのでは。それも選べる権利があるのではないのでしょうか。**

- 本人の決定権、頭では理解できても、転ばぬ先をつい考えてしまいます。進路決定に親が(親も必死に悩んで)考えたより安全かも?と思える道を歩ませている現状をどのように変えていけば良いのか?---悩みます。ただ、本人をより理解して対応して下さる方を周りに一人でも多く作ってあげられるように行動している積もりですが----。最後に話されたより良い伴走の一人の親になるべく努力しなければと思いました。
- 大変参考になりました。成年後見人の問題と障害者差別解消法
- 本人の意思」の尊重について。支援者は伴走者である。
- 1つ1つの報告がとても重く、興味深い者でした。新名さんのお話はわかりやすく、かつ前向きにさせてくれるもので参考になりました。本日はありがとうございました。
- 人権擁護に関する提案を聞かせていただき、大変ためになり、ありがとうございました。今後の自分の考え方、行動に生かしていきたいと思えます。今後もこのような話の聞ける場を多く作っていただきたく思います。

- 障害児についての人権擁護、いろいろな面で良い話が聞けて勉強になりました。難しい問題ですね。
- 大変良かったと思います。基調提案の新名さんの話が、実際の体験からの話で良かった。
- 新名先生の歯切れの良い話、納得させられました。親亡き後の心配は親だけの気持ち、本人の気持ち「本人はどう思っているのか」を考えていませんでした。会話ができるれば良いのですが。成年後見制度利用もやはり不安
- ・虐待と差別の区別がなかなかつかないのは難しいこと  
・代理人とか後見人というものは障害者の本当の気持ちを十二分に分かってあげることが必要でも  
・後見人というと65歳以上の人が多いということもわかりました。  
・自立できるように地域とも関わり合える暮らしが必要。  
・言葉が言えなくても、目や態度で示すので、そのことをメモすることが必要。  
・お金は子供のために残すものではなく使うもの。
- 後見人の必要性や問題点がわかりやすく聞けました。まだまだ後見制度の認識が低い自分を改めて自覚しました。

- 本人が問題を感じていないのに、周りが支援の必要を感じるケースはとても難しいと思います。どちらを優先させますか？・成年後見制度の利用が普通となれば良いと思います。・県育成会の権利擁護部会で行ってくださっている内容がよくわからない。・自己決定について、家族がもっと考えていかないとダメだと思った。
- 成年後見については、まだまだ先に---と置いていたのですが、この先考えていこうと思いました。
- 新名先生の提案。本当に身につまされました。私の娘の意志、意思決定、課題ですが、いつまでもそう言っているばかりでいられません。グループホームの入所を親は希望し、意志表明しています。が、それは親の意志です。本人はどう思うでしょうか。言葉で表明できない本人の意志、結局周りのものの思い込みにならないようにするには、どうしたらよいのでしょうか。難しい。
- 基調提案も提案者の方のお話も大変良かったです。でも時間が短く、お一人お一人の話がゆっくり聞けなかったり、質問を出し切れないように感じた。開会の始まりを少し早くするとか、部屋の移動が楽な時間のかからない場所か、思い切って提案は一人にする、質問、その後、基調提案者、提案者と会場で意見交換の時間を持つとかしても良かったかも。ただし、それは分科会の参加人数が少ないときしかできないけど。



# 第三分科会 育成会活動

- 基調講演久保厚子さんのお話。レジメをきちんと作ってくださり、映像を通してわかりやすく説明していただき、育成会活動の現状と課題がよく分かりました。糸賀一雄先生の「この子らに光を」でなく「この子らを世の光に」の考え方はまさに至言で、井原市手をつなぐ育成会も一般市民会員を含め、この趣旨に沿って活動しています。提案2の奥田美由紀さんのお話。岡山市の取り組みに感心しました。育成会活動にボランティアを巻き込んで素晴らしい活動をしておられ、対象の者たちもさぞ満足されていることでしょう。
- 司会の方、提案の方、各々のお話、それぞれが為になる参考になる話がありました。各年代、それぞれのニーズにあった働きかけで育成会がしていかない新たな会員を増やすのは難しいのは分かりますが、ニーズを拾いあげるために若い人たちのところにも巡回していかないといけないのではないのでしょうか？

- 全国的に育成会が活動をしていることを知りました。そのお陰で知的障害福祉法、知的障害者年金制度、重度障害児扶養手当、JR割引運賃、就学奨励費、養護学校の義務化など、私は知らないで恩恵を受けていました。本当に感謝です。これからは、積極的にこういう会には参加して行きたいと思います。もっと勉強していきます。
- 育成会の運営も施設の保護者会の運営も同じだと思いました。高齢化、若い親の不参加、運営するためのお金の苦労、参考になりました。在宅の方と入所の方のニーズは違いますが、本人の豊かな人生が何なのか、本人を大切に親としてできるかぎりのことをしていきたいと思います。育成会の活動も参考にさせていただきます。奥野さんの発表はすばらしかったです。がんばってください。
- 久保会長のお話良かったです。提案者の奥野さんの発表がとても良かったです。熱心に育成会活動をされているのに、本当に心から感心しました。若い方がいてくださるのが、本当にありがたいです。
- いろいろな地域によって違うが、連絡協議会の立ち位置、方向性の勉強になりました。

- これからの障がい者の高齢化について、とても詳しく説明していただき、これからの障がい者の方を支援していくか、していったら良いかがわかりました。社協と医療と自立支援協議会との連携が必要なのがよくわかりました。
- 1 久保会長の基調提案について、資料1ページ「育成会の組織と意義」と最後の糸賀一雄氏の言葉「この子らを世の光に」に提案の内容は言い尽くされていると思う。～温故知新。提案の中から、会員またはリーダーとして常に心すべきことの主なものを記しておきます。
  - ・リーダー自身が変わることによって本気になる。～自己改革、時には自己否定。
  - ・なぜ、何のために育成会に入っているのか。気楽に真面目な話ができる場を持つように努力し、会員の声を傾聴し、このメンバーと一緒にやっていきたい。このメンバーならできそう(信頼感、効力感)という組織にする。一学習による理念と目的の共有。
  - ・地域住民の理解、共同を得るには、地域・社会に喜ばれる活動をし、誰もが無関心ではいられない求心力のあるテーマのもとに協働する。本人の社会参加は、心のバリアフリーに益する。一育成会活動=地域づくり、街づくり活動
  - ・我が子が、生涯にわたって安心して幸せに暮らせるためには、今、何が必要か。若い親のニーズに気づき、その実現のために協力する。高齢の親は、経験からの知恵と言語力で、若い親は新しいアイデアと行動力で。
  - ・制度だけでは実現しない。本人の願いや希望をあなた(親)は知っていますか。
  - ・県内外の先進事例から学ぼう。
  - ・本人活動を適切に支援しよう。
- 2 組織委員からの二人の提案について 勝英地域とは雲泥の差がある。人口は多い。対照的な先進事例を聞かせていただき、大いに考えさせられました。人が、地域の文化、伝統、風雪の違いか、考えてみたい。
- 3 今後の大会運営について 今大会の総括として、次年に生かしたい。

# 第四分科会 重度化・高齢化

- 岡山マラソンと同じ日だったので、参加人数が例年より減っているのが残念でした。今後は大きなイベントがない日によろしくお願いします。小坂田教授の講演で障害のある人たちの老後の老障介護という言葉をはじめて聞き、今後の大きな問題と強く感じました。
- 20代の知的障害の息子がいてグループホーム入所を考えている。今日の講演を聞かせていただき、**高齢に伴い、本人のニーズに合わせた環境を整えていかなければならない**と思いました。その時々で相談できる場所を見つけておく必要があると思いました。
- **小坂田先生の小気味良いテンポのお話しで、話の中に引き込まれ、もっともっと聞きたいことばかり**でした。
-

- 高齡社会に入り、障がい者への支援が健常者の高齡者に比べて支援が低いのでは不安でいっぱいです。グループホームの利用者の具体的な事例を聞かされ、本当に行政はしっかりとみているのか、不安である。グループホーム化されているが、本当に地域の人とのかかわりができるシステムがあるのだろうか、少なくとも私の地域ではありません。
- グループホームは施設の考え方で、どれくらい、これから進んでいくのでしょうか。多機能ホームの話も出ていますし、これからの方向性は?グループホームは終の棲家にはならないように思いました。
- 初めての参加です。本に私たちはもちろん私自身も勉強になりました。
- ひとりぐらしができるように何とか支援をしていただきたいのですが、その質問に答える人がいなかったのは残念でした。

- 若い時の考え方と、親が高齢になるのと同時に本人の高齢化の問題が切実な問題になった現在、支援の形もだんだん変わってきて難しいことが多くなってきています。美作大学の先生のお話はわかりやすく、大変勉強になりました。参加してよかったですと思います。・提案者の発表の間の休憩時間は必要ないのではと思います。この休憩時間に帰れるのが目につきました。
- 基調提案、提案のみなさんの説明はわかりやすかったです。しかし、少し専門用語が多かったように思います。・質疑が活発なのも良かったです。午前中の基調提案の最中に後ろでお弁当の準備の話し合いの声がかきになりました。
- 医療費負担額の見直し。これからの地域医療などのネットワーク。障害者、高齢者が住みやすい社会になると良いと思います。
- 大切な分科会に出席しましたが、佐熊提案者の発表資料が不備で残念でした。白紙のものがファイルにありました。
- まだまだ先のことと思っていたが、障害のある息子と高齢化していく自分の今を改めて思う。地域連絡協議会や社協の存在をもっと身近にさせなければならぬと思った。

- 障害のある子を抱える親にとって持っている悩みは一緒だなと感じました。同じ気持ちだということで気持ちが楽になりました。老人福祉と同じように障害者福祉も充実してくれていったらと強く思う。自分の一生が幸せだったと感じられるように暮らしてほしい。
- 小坂田先生のお話が良かった。もう少し話を聞きたかった。
- 高齢化の課題がよく理解でき、良かったです。小坂田先生の提案に賛同します。
- これから先の高齢化、障害のある方への問題点、施設と法律、ネットワークの話は今後の課題でもあり、地域密着とかetc大切と思いました。もう少し話が聞きたいと思いました。
- 不安だらけの親に活を入れてもらいました。子供のこと、自分の悩みを話して地域の中に入っていきたいと思いました。

- 小坂田先生の基調提案、短時間でしたが、わかりやすく説明していただきありがとうございました。2時間ぐらい時間をとってもっと勉強させていただきたい感じです。障害を持っていても住み慣れた自分の家で暮らせていけるようにとってくださったことをとても心強く思いました。頑張ります。
- 平素から思っていること、悩んでいることが多い中、発表、質問などが出てとても参考になりました。特に小坂田先生のお話はとても分かりやすくもっともっと聞きたいと思いました。
- 小坂田先生のお話がとても参考になりました。地域福祉の大切、重要性が大事だとひしひしと感じました。重度障害のある娘と高齢化する親の今後の生活に不安が大了。相談支援センターに自分ら足を運ぶようにしたいと思えます。
- 親も子供も高齢化になり、皆さんの話に同感しました。グループホーム利用の件、旭川荘いづみ寮地域生活ホームの岡田先生のお話を参考にしていきたいと思えます。



- 自分自身が高齢化してきていて、いつまで元気で°見守っていか不安が多いです。地域での生活も親がいてこそ、実現できるのでは?認知機能の低下もあるでしょうし、少しでも長く元気で手助けできたらと思います。
- 高齢化、重度化、親として大変悩んでいます。親の方も施設にお世話にならなければと思っています。なかなか解決には至らないと思いますが、よろしくお願いいたします。
- 手帳Bの人が、二人とも年額70万円に対して医療費負担が、健常者と同じ3割であるのはあまりにも厳しいとの発言があり、私自身も知らなかったもので、びっくりした。たまりかねた発言であったとすれば潜在的にはもっとおられるはずで、アンケートだけでなく、その先のアクションが必要と思う。「育成会は頼りない」の声を聞いたことがある。もっと物申す団体にならねば意味がない。
- 的が絞れづらいようで、ちょっとわかりませんでした。少し長い感じが全てでした。ひとつひとつはわかりますが、全体としては、少々煩わしかった。

- 関心のあるテーマで、多数の参加があり、内容も基調提案の小坂田先生の話も短時間ではあったが、大変参考になった。もう少し話が伺いたいくらいであった。これからも関心を持って、情報を少しでも自分の中に入れていこうと思いました。同じテーマでも来年も続けて取り上げても良いのではないかと思う。